

事業紹介 (少年補導員一日体験教室)

少年補導員一日体験教室は、小・中学生の保護者を対象に街頭補導業務体験を通して、補導員の活動や青少年の行動実態を認識していただくとともに、少年補導員の新たな人材の発掘及び育成を図る事を目的に毎年開催しています。

(令和7年度：平東部、令和8年度予定：四倉・久之浜部)
令和6年度は、平西部の保護者3人にご参加いただき、本市の少年補導の概要や補導員の心得などを説明した後、青パト車による巡回での見守りや商業施設など街頭での声かけを体験していただきました。



体験補導の様子 (R6：平西部)

フレッシュな補導員から一言

四倉・久之浜部
補導員
愛川 秀子

子どもたちが毎朝協力し合って集団登校をして行く様子に、いつも励まされます。地域を巡回してみると、まだまだ知らない道路や危険な場所があることに驚きました。通学路は絶対に安心安全でなければならないと思います。

補導員1年目の新米ですが、地域の子どもたちが安心して生活できる環境づくりのお手伝いをしていきたいと思います。これからもよろしくお願いします。

見守りをする補導員として

平西部 補導員 遠藤 誉子

私は子どもが社会人になったのを機に補導員を始めて9年目になります。

夕方の巡回で青パト車に同乗し、高校生や部活帰りの中学生の下校を見守り、また時にはいわき駅周辺で、徒歩での街頭補導を行い帰宅時の高校生に「気を付けて帰ってね!」と声かけをしています。

今まで地域の方々に子どもを見守り育ててもらった恩返しの気持ちで、今度は次の世代の子どもたちを見守りたいと思います。

街頭補導実施状況

令和6年度は、年間で1,001回、延べ1,730人の少年補導員が活動しました。補導件数は「飲酒3人」で、指導件数は「自転車の二人乗り6人、無灯火2人」「その他57人(自転車危険運転2人、自転車ノーヘルメット17人、道路・電車等での危険行動5人、校則違反等行為33人)」でした。

また、街頭補導では犯罪や非行の未然防止に併せ、子どもたちの安全確保を目的として、不審者情報箇所周辺や通学路防犯危険箇所での見守り活動「見える補導・見せる補導」を実施しています。令和6年度は、不審者情報に関わる巡回を1,704回、通学路危険箇所の巡回を968回実施しました。今後も悪質な行為の抑止力となれるよう継続した巡回を行っています。



補導日誌から (令和6年度)

4月、低学年と思われる児童が、教職員と保護者の付き添いの元集団下校をしていた。青パト車から声をかけて帰るよう声かけをした。
梅雨時期の列車補導では、生徒の傘が道路にはみ出している状況が相次いで見られた。他の乗客の迷惑にならないよう、なるべく自分の手元に置いておくように指導した。
夏休みに入り、海岸では約30人程が海水浴を楽しんでいた。中には小学生もいたので声をかけると

家族やいどころと一緒に来ていると話してくれた。
12月、16時過ぎに公園を巡回したところ、寒空の下で小・中学生が遊んでいた。小学生は16時前に家に帰るよう指導した。また、中学生は学校から帰宅せずそのまま遊んでいたことから、一度自宅に帰ってから遊びに来るよう注意した。
3月、商業施設にいた高校生に声をかけると「今週大学へ進学するため上京の準備中だ。」と話してくれたので、激励の言葉を送った。

発行

いわき市教育委員会事務局
生涯学習課
いわき市少年補導員
連絡協議会



連絡先

平少年センター Tel. 22-5431
小名浜少年センター Tel. 54-1890
勿来少年センター Tel. 63-3467
常磐少年センター Tel. 43-2305
内郷少年センター Tel. 26-2974
四倉少年センター Tel. 32-2920

第18回いわき市青少年育成大会

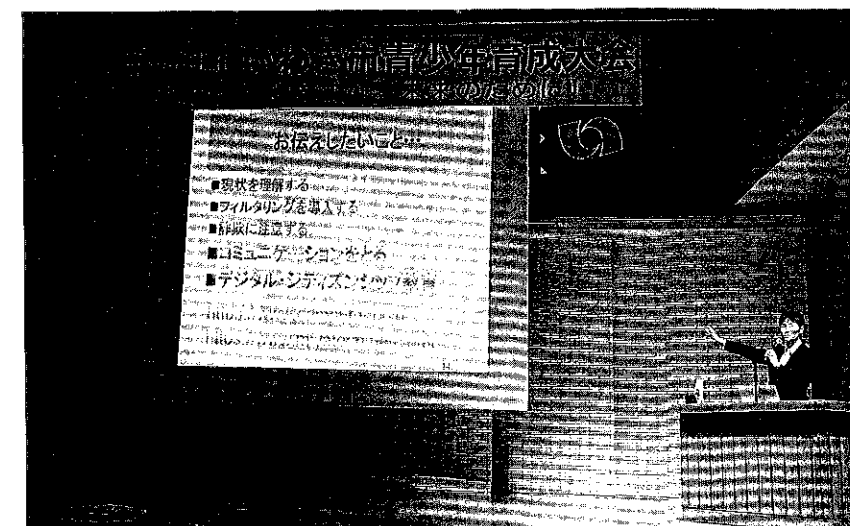
8月31日、文化センター大ホールにおいて「第18回いわき市青少年育成大会」が開催され、少年補導員や青少年育成市民会議などから約80人が参加しました。昨年に引き続き、少年の地域活動を積極的に支援するため、中学生2人、高校生2人のボランティアを受け入れての運営となりました。

意見発表では、小学生1人、中学生4人が、いじめをなくすためにできること、地域活動や学校生活の中で得た学びや気づきなどを力強く発表し、参加者は熱心に聞き入っていました。

記念講演では、特定非営利活動法人日本コンピュータ振興協会理事長の根本雅昭氏に「青少年を取り巻くインターネット～現状と対策～」と題し、家庭でのスマートフォンやSNS等との向き合い方について、実例を交えながら説明していただきました。

【意見発表者】

- ・横幕 えみりさん (平第二小) 「いじめをなくすために」
- ・岡本 証志さん (好間中) 「共に生きる」
- ・島倉 汐里さん (内郷第一中) 「地域のチカラ」
- ・酒井 晴加さん (湯本第三中) 「つなぐ」
- ・小田 沙和さん (勿来第二中) 「あなたの周りに」



【記念講演：特定非営利活動法人日本コンピュータ振興協会 根本 雅昭 氏】

補導での思い出とその時思ったこと

いわき市少年補導員連絡協議会 会長 遠藤 靖



本年度より、いわき市少年補導員連絡協議会の会長を務めさせていただきます常磐支部会長の遠藤です。よろしくお願いします。補導といえば忘れられない思い出があります。今から十数年前、車でなく歩いて補導をしていた時のこと、御幸山公園の入口で数人の女子高生が集まって何かをしていたので近寄ってみると、缶酎ハイで酒盛りをしていました。

「皆、お酒は20歳になってからだよ。時間も6時半を過ぎているのでお開きにして、家に帰ろうね。」というと、意外にも素直に「はい帰ります。」

帰っていく後ろ姿を見送りながら思ったことは、注意や補導も素直に受け入れられるように愛情をもって子どもたちに接していかなければいけないということでした。各支部の補導員の皆様も補導を

始めとして、地域の活動に参加されている方も数多くいらっしゃると思います。補導だけではなく地域を通して子どもたちに接する機会があれば「大人があなたたちを見守っていますよ」と分かりやすい態度と言葉で示事が大事だと思います。

補導員の皆様には、日頃より熱心に補導活動に参画いただきまして感謝しております。補導員の平均年齢も年々高齢化しておりますので、健康に留意しながら補導活動に精励していただきたいと思います。2年間会長を務めますので、よろしくお願いします。

いわき市少年補導員募集中！

～地域の子どもたちを見守り育てる活動に参加しませんか～

気になった方はこちらへ ☎0246-22-7558 (いわき市教育委員会事務局生涯学習課青少年係)

令和7年度『福島県青少年育成県民会議会長表彰要綱に基づく会長表彰』受賞者

〔青少年指導者の部〕 上村 直人氏 (いわき市少年補導員常磐支部会)

少年補導員を始めて3年目

小名浜方部

補導員 秋野 秀輝

私は、主に夕方時間の補導に参加しています。補導という言葉から取り締まりをイメージしてましたが、主な活動は、青パト車で巡回しながら声かけによる子どもたちの安全と犯罪・非行の未然防止の意味があると知りました。補導活動では、先輩補導員の方々と色々な情報交換もでき、大変勉強になります。

また、私は朝と夕方に犬と散歩をしています。出会う子どもや大人たちに「おはよう」「こんばんは」などと声をかけると、子どもたちからは元気な返事が返ってきますが、大人たちからは時々返事が返ってこない時があり、残念な気持ちになることがあります。

まだまだ分からないことばかりですが、これからも長く補導活動が続けていきたいと思っています。



義母の姿に憧れて

内郷方部

補導員 五十嵐 由

私に補導員となるきっかけを与えてくれたのは、補導員歴約35年の大先輩である私の義母でした。雨の日も風の日も、孫たちを含め地域の子子どもたちが、安心安全に過ごせる街にするために補導活動をしていた義母。その姿を見て憧れを抱き、義母が補導員を引退することになった際、バトンを受け継ぐ決心をしました。

補導員となった今、小・中学生の下校時間に、マイクを通して「気を付けて帰ってね」と呼びかけると、手を振ってくれる子どもたちの姿を見て癒されるとともに、やりがいを感じています。

まだまだ未熟な補導員ではありますが、これから



街頭補導 活動レポート

も、補導活動を通して地域に少しでも貢献できるように精一杯精進して参りたいと思います。

未来を担う子どもたちの笑顔を守る

常磐方部

補導員 根本 陽子

補導員になって10年以上経過しました。巡回中の青パト車内は情報交換の場となっており、私の大切な時間です。電車での列車補導は、学校帰りの生徒たちの様子が見られて、楽しく刺激になります。

青パト車の光が人けの無い場所を照らすことで、また祭りなど人混みの中では青いベストを着用した補導員が姿を見せることで、青少年に忍び寄る犯罪への抑止力になればと考えています。

猛暑のせいかゲームの影響か、最近子どもたちが公園で遊んでいる姿をあまり目にしなくなりましたが、不審者情報はむしろ増加しているように感じるので、気を引き締めて補導したいと思います。

積極的に声かけすることで、未来を担う子どもたちの笑顔を守れるよう、微力ながらお手伝いしたいと考えています。



活動のひとつ

勿来方部

補導員 下山田 麻紀

補導活動のひとつに、列車補導があります。駅や車両内などの鉄道関連施設において行われる活動です。車両内を巡回し、声かけを行います。

今年度、私が列車補導を行ったのは、夏が始まり暑い日々が続く頃でした。高校生が多く、みんな下を向いて友達と会話する事もなく、ずーっとスマホばかり見えています。

声をかけても、イヤホンをしていて、私たちの声は届きません。ゲームやSNS。それぞれが個々に過ごしているのでしょうか。ただ、そうではない場合もあるかもしれません。ゲームをしているように見せて、盗撮をしているかもしれないし、目の前の人を撮影し、なりすましに利用されている可能性もあります。

そのような行動に移させないよう、未然に防ぐためにも、声をかけ続けていきたいと思っています。

朝のあいさつは一日の始まり

平西方部

補導員 松本 紀子

平西方部では、9月1日に早朝特別補導を草野駅、赤井駅、小川郷駅の3駅で実施しました。主に電車通学の高校生や集団登校の小・中学生に除菌ティッシュを配りながら声かけをしました。いつもの朝と違う駅の雰囲気にならず戸惑う様子もありましたが「おはようございます」「行ってらっしゃい」の声に、恥ずかしそうにしながらも笑顔で答えてくれる姿に嬉しくなり、朝のあいさつは一日を明るくスタートさせるための大切なコミュニケーションであることを実感させてもらえました。

通常の街頭補導活動では、青パト車で巡回が多いのですが、直接子どもたちの顔を見て声をかけることで、いつも誰かが見守ってくれている安心安全な街になるように、これからも広くやさしい心で活動が続けていきたいと思っています。

補導員の使命

四倉・久之浜方部

補導員 山崎 かよ子

自身の子育てが一段落し、補導員として地域の青

少年の見守り活動に参加する中で、改めて気が付いた事があります。誰もが一人で生きていくのは難しいという事です。お互いを理解し尊敬しあい共に豊かな日々を重ねていく、そうした心がけが安心安全の砦となり、子どもたちを大きく成長させるのではないかと思います。最近になって思うことは、青少年には、あれこれと口や手を出すよりも、失敗しても、自分で考え、次へ進んでいけるように応援できる大人でありたいということです。

これからも、未来の宝である子どもたちを“わが子”“わが孫”と思い、励ましの言葉を笑顔で伝えていきます。



七夕補導を終えて

平東方部

補導員 吉田 元

8月6日水曜日、雷雨が明けた直後のアスファルトの匂いの中、夕暮れ時の平・本町通りの七夕補導に出動しました。笹飾りが取り込まれたこともあって、視界の利く補導活動となりました。

除菌ティッシュの配布をしながら、知り合いに会うたびに「補導員やっていますよ」と活動を知ってもらう機会にもなります。

18時台という（やや）健全な時間帯というせいか具体的な補導案件には至らなかったものの、日常の活動の中では、いわき駅ペDESTリアンデッキでの中学生と思いき少年の喫煙や、丹後沢公園での高校生男女の仲睦まじすぎる姿など、私たち補導員が目になる必要性を感じる場面もあります。

今後とも地域の皆さんが子どもたちに厳しくもあたたかい視線を送っていただければ、と願っています。



令和7年度『福島県青少年育成県民会議会長表彰要綱に基づく会長表彰』受賞者

〔青少年指導者の部〕 渡辺 良一氏（いわき市少年補導員勿来方部会）

令和7年度『福島県青少年育成県民会議会長表彰要綱に基づく会長表彰』受賞者

〔青少年指導者の部〕 根本 弘氏（いわき市少年補導員内郷方部会）